

祝 完成 エグゼキュータ U N I Q U E

「エグゼキュータ U N I Q U E」。なんともユニークな名称です。「ただひとつしかない」「匹敵するものがない」「独特の」「他に可能性が考えられない」。ランダムハウス英和大辞典では、U N I Q U E をこう説明しています。

これまで、X1か、MZでしか稼動しなかったクラスルームCAIシステムのエグゼキュータが、遂に他の機種でも実行可能になりました。たったひとつのエグゼキュータでほとんどの機種に対応できる、だから、その名はU N I Q U E です。MZ2800、MZ5500、PC9800、FMR50、AXなど、MS-DOSを採用している機種ならば、ほとんどの機種に対応しています。各機種用のエグゼキュータを開発したのではなく、たったひとつのエグゼキュータで各機種に対応できる秘密は、機種の違いを吸収する「互換ドライバー」を各機種毎に開発したからです。

すでに多くの方が実演をご覧になっています。興味のある方は、次号のECO News または学研のNEW 6月号を。

今年も開催・・・夏のCAI合宿研修・・・あなたの予定表に加えておきましょう

各地で開催される1989年度「夏のCAI合宿研修会」の日程が下記の通り決定いたしました。良い教材とは何か、また、どうすればよい教材が作れるかに重点をおいた中身の濃い研修会を予定しています。

研修内容はおよそ次の通りです。CAI教材の設計から教材作成まで、実習を中心に行う予定です。

- (1) よいコースウェアの実際
- (2) 目標分析からコースウェアの流れへの展開
- (3) 学習記録の分析方法
- (4) ネットワークの意義と活用方法
- (5) 中学校技術・家庭「情報基礎」対応教材作成
- (6) なんでも相談セッション
- (7) CAI指導者養成特訓セッション

研修会トピックス

- 学習者がマウスや矢印キーを使って入力したり、図形を移動できるようになり、コースウェアは単に学習者が質問に答えるだけのものではなくなりました。
- 子どものためのデータベース、表計算ソフトとCAIのリンクなどは情報活用能力の育成にピッタリです。

	主な対象	会 場	期 間	主 催	備 考
①	西日本	シャープ天理研修所	7月25日～27日	コンピュータ教育教材開発研究会	
②	北陸	石川県山中町立山中中学校	8月1日～3日	石川県小中学校視聴覚教育研究協議会 / 山中中学校	
③	北陸	富山県滑川市産業研修センター	8月1日～3日	富山県パソコン教育利用研究会	
④	東日本	シャープ栃木研修所	8月3日～5日	コンピュータ教育教材開発研究会	
⑤	中部	長野県阿南町立新野小学校	8月3日～5日	阿南町教育委員会 / 新野小学校	
⑥	つくば市	シャープ栃木研修所	8月8日～10日	つくば市教育委員会	つくば市教職員のみ
⑦	中部	長野県更埴市大池自然の家	8月17日～19日	更埴市教育委員会	主に更埴市教職員
⑧	全国	NHK放送研修センター（東京）	8月23日～26日	NHK放送研修センター	
⑨	沖縄	沖縄県豊見城村中央公民館	8月28日～30日		現在計画中

教育機関ネットワーク開始！

— テレピア都市をめざす土浦市の試み —

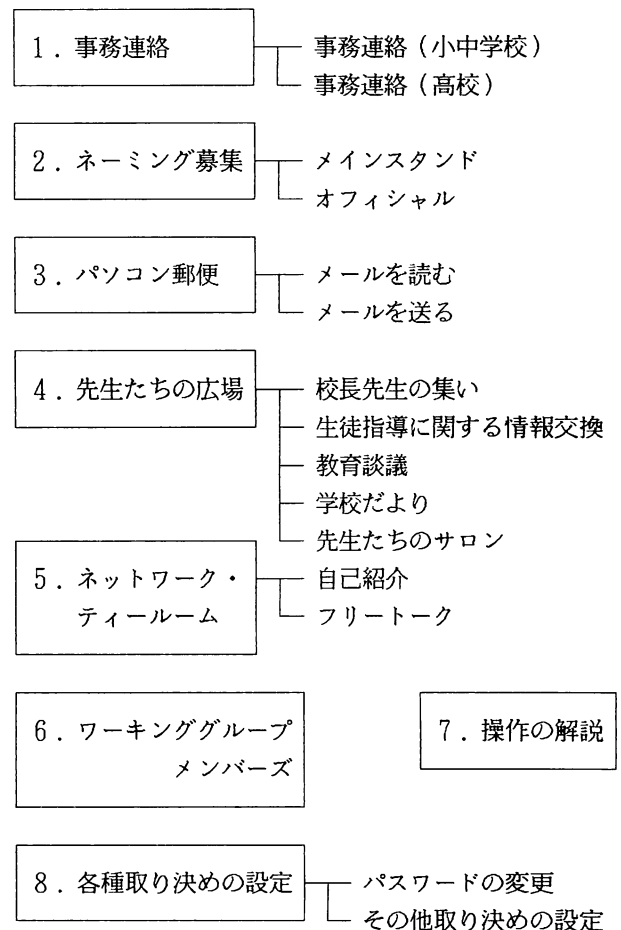
土浦市は、昭和63年3月に、市内の各機関をパソコン通信で結びネットワーク化するテレピアモデル都市に指定された。そのための実験ネットワークが、教育機関を対象に作られ、昨年7月に、市内の各小中学校24校、周辺高校4校及び教育委員会を結ぶパソコン通信が稼働し始めた。現在は、この教育機関パソコン通信の実験的運用が進められている段階である。ネットワークには、参加者の先生方によって、T-COM土浦というニックネームが付けられた。ネーミングの募集や決定は、もちろんこのパソコン通信によって行われた。以下、土浦の教育機関パソコン通信ネットワーク、「T-COM土浦」について解説する。

T-COM土浦の目的は、次の2点である。①各学校間及び教師間の情報交換、あるいは教育委員会と各学校間の緊急の連絡等に活用することにより、緊密な情報ネットワークづくりを図る。②土浦市全体の本格的なパソコン通信システム構築に向けての情報ニーズの把握、各サービス内容量のチェック等を行い、土浦市に適したシステム作りを行う。従って、現在のT-COM土浦での運用のノウハウが、将来の土浦パソコン通信システムを左右するものであると言える。このような背景から、T-COM土浦のホスト局は教育委員会ではなく、市役所の企画課にあり市役所企画課の職員が管理している。

現在のT-COM土浦の概要は次の通りである。パソコン通信には不可欠であるID番号は、各学校および土浦市の先生方個人を対象に発行されている。加入は自由であるが、現在、150名以上の先生方がID番号を所有している。これは土浦市の先生方5人に1人という割合である。また、土浦市の先生であれば勤務校のID（学校用）を自由に使用できるので、個人用のIDを所有していない先生でも、学校用のID番号で通信を行っている方も多い。通信メニューは右図のようになっている。

この中で頻りに利用されているものは、「事務連絡」「パソコン郵便」、「フリートーク」のコーナーである。中でも、「フリートーク」では、日常生活での出来事をUPする先生から、プログラムをUPする先生まで様々であり、気軽に利用できるコーナーとなっている。「事務連絡」については、現在、通信自体が実験段階であるため、文書も同時に発送されている。

テレピア構想から出発したT-COM土浦は、教育機関を対象としたネットワークシステムであるが、中心となって活動してきたのは、市役所企画課に籍を置く通信担当の青山氏である。青山氏は、事務連絡が確実に送受信できるようにと事務職員に対する研修を開いたり、毎日のように各学校を訪問して、操作についての指導を行ってきている。先日、市役所内に設置してあるホスト局を見学させていただいた時、青山氏は「学校を知ることから始めている」と話されていた。確かに、学校関係者以外の人で学校の様子について知っている人は数少ない。大変な仕事であった



ろうと想像される。そのご努力もあって、土浦市の学校ではここ数カ月間でパソコン通信に関する意識が高まり、個人的に通信のための機器を購入し自宅からパソコン通信を行う先生やパソコンそのものを学びたいという先生方の数が増えてきており、実は私もその一人である。

以前、同じ教員仲間から「他の学校のようにすをもっと知りたい。」という言葉をよく耳にした。学校の先生であっても、勤務校以外の学校の様子はほとんど分からないのが現状である。パソコン通信にある「学校だより」によって、以前に比べて、他学校のことを知る量が多くなっているとの声がよく聞かれるようになった。パソコン通信を利用する価値は、このような点にもあるのではないかと思う。また、このようなところにも、青山氏の苦労がうかがわれる。

実験段階の土浦パソコンネットワークであるが、わずか数カ月間で、他の学校の出来事や様子を知ることができるようになり、教育について市内全域の先生方と時間場所を問わず語れるようになったことは、この通信システム導入による大きな成果である。これから、さらに教育そのものに関する情報がこのシステムを通して盛んに交わされるようになれば、子供達に対する教育にも、おおいに貢献していくことは間違いない。

土浦の学校間パソコン通信が、単に情報交換のシステムにとどまらず、学校教育の現場において、先生方の手助けとなり、子供達の教育に反映され、開かれた学校を目指して、発展していくことを期待している。

(土浦市立中村小学校 桜井規夫

1988年度筑波大学学術情報処理センター内地留学生)

年度の始めには、最新版に変更しましょう。

MZ-2800用クラスルームCAIシステムの機能が一段と拡張されました。

実際にコースウェアを開発されている方、授業を担当されている方、まったく初めての方など各方面の方々からのご意見をもとに、筑波大学学術情報処理センターとシャープシステムプロダクトは、クラスルームCAIシステムを育てていくことができました。ご意見をお寄せ下さった方々に感謝いたします。

さて、コースウェア作成の初心者には分かり易く、熟練者にはより高度な機能を実現するという、この一見矛盾する課題に正面から取り組み、現在では、次のことが実現されています。バージョンアップについての詳細は「バージョンアップ情報」、「ユーザーズマニュアル追加資料」または、「情報基礎にも対応教育用コンピュータシステム」のパンフレットなどをご覧ください。

ここでは、人気の高い機能のみ紹介します。

◆98ユーザーの方へ

一太郎などワープロで作成した文書を、オーサリングシステムのテキストデータとして簡単に取り込めるようになりました。MS-DOSのテキスト形式の文章ならば可能です。いままでの教材資料が活かされます。

◆先生も学習者もマウスが使えます

教材作成時、学習時、いずれもマウスが使えます。マウスがなくても、矢印キーでOKです。この機能により学習者が画面上の図や文章の任意の位置を指し示すような回答や図を移動させるなどの回答が可能となりました。

◆コンピュータがしゃべります

ADPCMボードを増設することにより、音声をフロッピーに録音しておき、必要な箇所を自由に再生できるようになりました。幼児教育、語学教育が楽しみです。

◆カラーの図や写真をコピー感覚で取り込めます

カラーイメージスキャナーにより、複雑な図や写真などの教材を、簡単に取り込み、パターンとして利用できるようになりました。大きな図は連続パターンとして自動的に処理され、部品として利用できます。

◆漢字変換モードを標準に

従来は変換モードにしてから、よみを入力していましたが、ワープロと同様に最初から漢字変換できるモードに変更しました。

◆疑問点はヘルプ機能で解決

オーサリング時にもし疑問がわいたらヘルプキーをお試しみましょう。役立つ情報が画面に表示されます。マニュアルにない追加された便利な機能も見つかることでしょう。もう「西〇氏の左手に注意」の標語は不要です。

◆自分の名前や回答が画面に表示される

メッセージなどの中に学習者の名前や直前の回答を表示することができます。教材作成時に名前を入力しておかなくても、学習時にSSTから自動的にメッセージなどにうめこまれます。

◆ラベルは選択すればよい

データをLOADするとき従来はラベルを入力しましたが、マウスや矢印キーで選択できるようになりました。とくにパターンの選択では便利です。

◆目標や応答カテゴリーの内容説明

SST変数の利用目的をメッセージデータとして、登録しておく、授業中に教師用画面に、点数などとともにその説明を表示することができるようになりました。

◆回答欄など領域指定が便利に

枠つきの回答欄が用意されました(F6)。各領域の位置の変更はシフトキーと矢印キーで容易にできます。

◆グラフィックスは大変便利に

3点を通る円弧、メッシュの利用、漢字の位置回転指定など、カユイところに手がとどくようになりました。ヘルプ機能で、機能を探ってみて下さい。

◆ネットワークの機能が強力に

このスペースでは足りません。次号で詳しく説明しましょう。他のCAIシステムと最も違うところです。

問い合わせはもよりのSSPか、ECO Newsへ。
詳しい情報を知りたい人は、夏の研修に参加しよう。

配布コースウェアを利用の方へ

新年度に入り、先生方の移動等で、コースウェア配布の際に提出していただいた「約束書」の記載事項にも変更が生じていることと思います。そこで、ECO Newsでは、すでにコースウェアの配布を受けている方々に、更新手続きをお願いすることになりました。次の方は必ず手続きをして下さい。記載事項に変更が無い場合は、手続きは必要ありません。

配布をうけた先生の所属が変わった方で、

ア 配布されたコースウェアの使用場所は変わらない場合

⇒学校長または新たな管理責任者名で約束書を再提出して下さい。(変更と朱筆)

所属を変われた先生が、新しい所属先でも、コースウェアの使用を希望する場合は、ECO Newsへフロッピーと「約束書」を送り新たに配布を受けて下さい。

イ 配布されたコースウェアを新しい所属先へ移管したい場合

⇒新しい所属で「約束書」を再提出して下さい。(変更と朱筆)

元の所属先で他の先生方がコースウェアの使用を希望する場合は、ECO Newsへフロッピーと「約束書」を送り新たに配布を受けて下さい。

ECO Newsの速報は電子メールでお届けします

【パソコン通信加入者&ID一覧】(その1)

<PC-VAN>

VND23231	岡本 実	RXG21031	柳沢 勉
SSC67362	上石民雄	HTD84311	余田義彦
QTJ97662	川口満男		
JKA02248	小泉道雄	<NIFTY>	
QYH63983	桜井規雄	PDB02170	赤井真理子
PDF90779	篠崎美紀	NAC00667	井上宏明
HHA59353	島崎 勇	SDI00397	岡田俊一
PHH34538	瀬口春一	MGG01166	尾小山輝子
UXH11783	高桑 哲	NCC00144	岸本友宏
MBG34434	中島恒夫	PDG02321	佐伯昭彦(村本)
GND15908	館 俊博	PGB00610	篠原文陽児
GKB04467	中山良一	PFC00647	島崎 勇
NGA26205	浜崎 修	PEA00730	館 俊博
TXA91131	東原義訓	PPF00317	中島恒夫
FVJ72610	堀田龍也	MGG02106	浜崎 修
QQC95983	堀口秀嗣	PAG01211	東原義訓
FQB77335	正木邦夫	PPF00242	村田良紀
QPH76862	丸山 浩	PAP00611	柳沢 勉
CCJ19229	村田良紀	PGA00700	余田義彦

ご協力ありがとうございました。今回掲載できなかった方の分は次回お知らせいたします。パソコン通信に加入していらっしゃる方は、ECO News(PC-VAN:TXA91131 NIFTY:PAG1211) までIDをお知らせください。

FROM RECENT BOOKS, MAGAZINES & PAPERS

「NEW教育とマイコン」(学研)

・困悲憂多 1989.1
「笑うに笑えぬ笑い話」

「マイコンレーダー」(第一法規)

・東京学芸大学 篠原 文陽児 1989.1
「プログラミングとアルゴリズムの指導」
・東京都立教育研究所 井口磯夫 1989.1
「パソコン利用のための発展課題」
・長野県阿南町立新野小学校 手塚俊尚 1989.1
「移動CAI教室体験記」
・茗溪学園中学・高等学校 大竹隆夫 1989.2
「データベースを活用した英語ドリル」

「筑波大学内地留学生・研修生報告書」から

・つくば市立桜中学校 根本光子
「CAIを利用した国語教育－
情報化社会にむけての試み」
・相模原市立相模台中学校 上石民雄
「CAIコースウェアの設計－
学習の個別化への試み」
・相模原市立大野台小学校 岡本 実
「CAI推進のポイント－
筑波大学研修を通して」

報告書のお問い合わせは、ECO Newsへ。

移動CAI教室開催予定 [お問い合わせは直接学校へ。期間中は授業公開日以外でもCAI授業や施設の見学ができます。]

開催期間	開催学校名	授業公開日
6月 5日～6月17日	長野県更埴市立東小学校 ☎0262-72-2217	6月15日(木) 授業公開および講演
6月26日～7月 8日	茨城県鹿島町立波野小学校 ☎0299-82-7900	未定

移動CAI教室の開催を希望される教育委員会・学校はできるだけ早めにECO Newsまでご連絡下さい。ご相談も受け付けております。

ECO Newsからのお願い

[葉書かパソコン通信で連絡下さい]

- ①勤務先、所属等が変わった時 ②自宅や勤務先の住所が変わった時 ③学校長等が変わった時
④CAI担当の先生が交代した時 ⑤CAI関係の設備等の新設、変更、増設があった時

【編集係から】やっと出ましたECO News No.7. No.6からかぞえて5か月! 季節はお正月をすぎ、桜咲く春をすぎ、あっという間に初夏になってしまいました。この間、廃刊になったかと心配して下さった方々、すみませんでした。ECO Newsをとくに忘れてしまった方々、思い出していただけたでしょうか。関係者の入院、通院、検査も一段落、今は元気です。ご心配かけました。

〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学学術情報処理センター内
ECO News
☎ 0298-53-2454 FAX 0298-53-2983
パソコン通信 PC-VAN:TXA91131 NIFTY:PAG01211